



環境経営 レポート

未来のために、今やるべきことがある

発行日：2023.9.30

対象期間：2022.4.1～2023.3.31



®環境省

エコアクション21

認証番号 0001187



Clean and Innovation 株式会社 エコワズプラント



目次

この度は、株式会社エコワ
スプラントの環境経営レ
ポートにアクセス頂きまして
誠にありがとうございます。

ペーパーレスの一環としてこ
ちらの環境経営レポートは
電子媒体でご覧頂くことを
前提として作成しております。

ご覧いております皆様にも
ペーパーレスにご協力頂
きます様、何卒、ご理解、
ご協力お願いいたします。

各ページのアイコンや画像
をクリックいただきますと弊社
ホームページの該当ページ
や外部サイト（産廃情報
ネット）にアクセス頂けます。



計画の策定 (Plan)

[P 3.組織概要、環境管理体制、事業概要、組織図](#)

[P 4.産業廃棄物処理業における施設等の状況](#)

[P 5.産業廃棄物処理業の許可の状況](#)

[P 7.環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画、環境目標数値](#)

[P 8.環境目標（2017年度～2021年度）](#)



計画の実行 (Do)

[P 9.具体的な取組](#)

[P10.安全運転への取組](#)

[P11. SDGsへの取組（環境への取組）](#)

[P12.情報の共有化](#)



取組状況の確認及び評価 (Check)

[P13.環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果、低排出ガス車・低燃費車導入状況](#)

[P16.CO2収支](#)

[P14.廃棄物の処理実績](#)

[P15. CO2発生原単位・水道使用量・自社廃棄物排出量・廃棄物取扱量推移](#)



全体評価と見直し (Act)

[P17.今年度の反省及び次年度の取組内容、代表者のコメント](#)

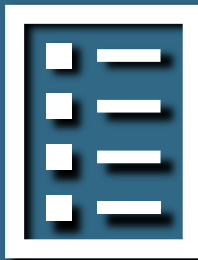


その他 (Others)

[P18.社会貢献活動、その他環境活動](#)



組織概要、環境管理体制、事業概要、組織図



計画の策定

株式会社エコスプラントは産業廃棄物処理業を通し、「Think Globally Act Locally」の精神のもと、来るべき「ゼロ・カーボン社会」に向けて地球とともに環境を創造してまいります。

廃棄物処理はもとより、廃棄物の排出抑制及び再資源化に係わるトータルな環境ビジネスをご提供しております。

代表取締役を中心とした環境管理体制を構築し、環境経営目標達成に向け、日夜業務に励んでおります。



商号
株式会社 エコスプラント



代表者
代表取締役 浅尾 洋和



法人設立年月日
1999年1月18日



資本金
60,000,000円



売上高（2022年度）
1,311,589千円



連絡先
TEL：042-597-1115
FAX：042-597-5555
URL：<https://www.ecowasplant.co.jp/>



所在地
本社
日の出りサイクルプラント第二
日の出収集運搬車両駐車場2
↳東京都西多摩郡日の出町平井22-10
日の出りサイクルプラント
日の出デポステーション
↳東京都西多摩郡日の出町平井34-1
あきる野リサイクルプラント
あきる野デポステーション
あきる野収集運搬車両駐車場
↳東京都あきる野市養沢1095
日の出収集運搬車両駐車場1
↳東京都西多摩郡日の出町平井35-3



環境管理体制
澤田 鉄平（環境管理責任者/環境管理事務局）
吉岡 正城（統括安全衛生責任者）
緑川 幸一（安全管理責任者/公害防止管理者/衛生管理者）
久津輪 昭彦（運行管理責任者）
島田 豊（防火・防災管理者）
長南 裕子（遵法監視責任者）

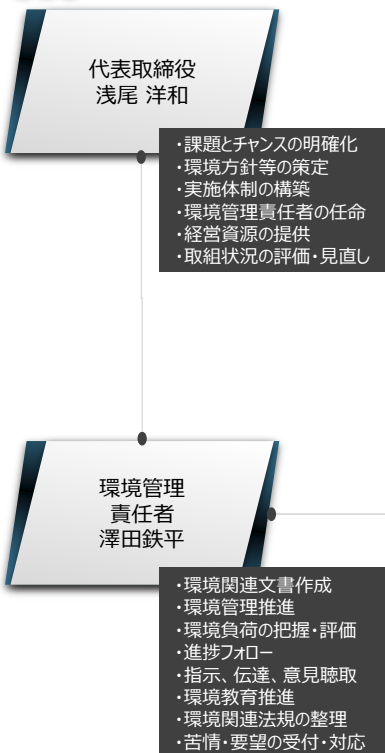


事業内容
・産業廃棄物中間処理業（※） ・一般廃棄物中間処理業（※） ・産業廃棄物収集運搬業（※）
・特別管理産業廃棄物収集運搬業（※） ・一般廃棄物収集運搬業（※） ・リサイクル製品製造業（※）
・解体工事業 ・フロン回収業 ・計量証明事業 ・労働派遣事業

（※）エコアクション21認証・登録



エコアクション21組織図

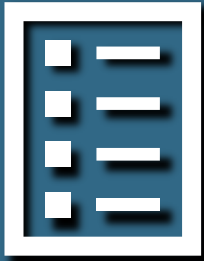


従業員87名
(2023.3.31現在)

営業部	本社	・活動計画の実行 ・実施状況自己チェック ・4Sの実施 ・グリーン購入の推進 ・環境意識の向上
経営企画部	本社	・活動計画の実行 ・実施状況自己チェック ・4Sの実施 ・グリーン購入の推進 ・環境意識の向上
経営管理部	本社	・活動計画の実行 ・実施状況自己チェック ・4Sの実施 ・グリーン購入の推進 ・環境意識の向上
運行管理課	日の出	・活動計画の実行 ・実施状況自己チェック ・4Sの実施 ・エコドライブの実施 ・環境意識の向上
現業管理課	日の出 日の出2 あきる野	・活動計画の実行 ・実施状況自己チェック ・4Sの実施 ・グリーン購入の推進 ・環境意識の向上
プラント管理課	日の出 日の出2 あきる野	・活動計画の実行 ・実施状況自己チェック ・4Sの実施 ・グリーン購入の推進 ・環境意識の向上



産業廃棄物処理業における施設等の状況



計画の策定

多様多種の車両・分別容器を揃え、現場に合った再資源化のご提案しています。

少量の産業廃棄物を積替保管施設経由で他の処理場へ運搬しています。まとめて運搬することでCO2排出削減に貢献しています。

受け入れた廃棄物は粗選別、振動篩、手選別、磁力選別、風力選別、高度機械選別で単品化されます。その後、処理を行い、多くが再生資源として搬出されます。なお、振動篩で発生する篩下残渣はセメント原料として再資源化しております。



産業廃棄物収集運搬業

車両台数

2 t 平ボディ車	6台	4 t コンテナ車	10台
2 t ダンプ車	4台	4 t ダンプ車	2台
2 t コンテナ車	1台	4 t ユニック車	2台
3 t 平ボディ車	2台	6 t ユニック車	2台
3 t コンテナ車	1台	大型コンテナ車	3台
		小型貨物車	2台
		合 計	35台

積替・保管施設（あきる野デポステーション）

施設面積： 3,615.00m²

最大保管高さ： 2.00m

保管上限： 90.00m³

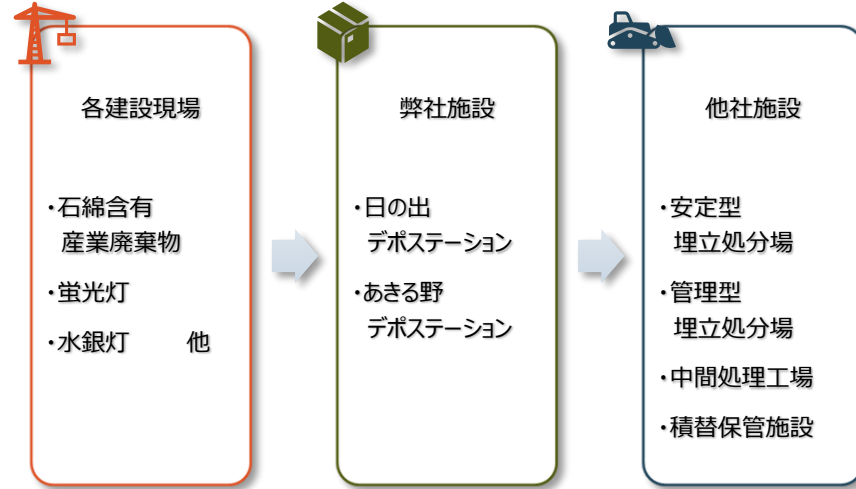
積替・保管施設（日の出デポステーション）

施設面積： 2,552.00m²

最大保管高さ： 1.20m

保管上限： 19.84m³

積替保管フロー図



産業廃棄物処分量

処理工程





産業廃棄物処理業の許可の状況 (2023.3.31現在)



計画の策定

最新設備による破碎、圧縮・梱包、溶融、機械選別まで、分別ラインときめ細やかなマンパワーとの融合による安全・効率的な環境型処理システムを導入しており、より高い廃棄物の減量化・再資源化を実現しています。

許可証をクリックいただきまずと情報公開のインターネットページに接続します。

様式第九号の二 (第十条の六関係) 令和 3年12月21日 3環多廃更第381号
許可番号 第13-20-072577号

産業廃棄物処分業許可証

住所 東京都西多摩郡日の出町平井2番地10
氏名 株式会社エコフスプラント
代表取締役 浅尾 洋和

優良

廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第14条第6項 の許可を受けた者であることを証する。

東京都知事 小池百合子

許可の年月日 令和 3年12月 2日
許可の有効年月日 令和10年12月 1日

1 事業の範囲
(1) 業の区分: 処分 (中間処理)
(2) 処分の方法と取り扱う産業廃棄物の種類
破碎 : 廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類 (以上8種類)
圧縮・梱包 : 廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず (ガラスワール及びロックワールに限る。) (以上5種類)
溶融 : 廃プラスチック類 (発泡スチロール・スチレンフォームに限る。) (以上1種類)

2 事業の用に供する施設 (詳細は裏面のとおり)
施設所在地
(1) 東京都西多摩郡日の出町平井34番地1、34番地2、34番地10
(2) 東京都西多摩郡日の出町平井2番地10
(3) 東京都あきる野市養沢字大平1095番地、1096番地

3 許可の条件
(1) 作業時間は、あきる野市養沢字大平1095番地、1096番地に所在の施設については、原則として8時から17時までとすること。
(2) 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「都民の健康と安全を確保する環境に関する条例」及びその他の関係法令を遵守すること。
(3) 中間処理は都の承認を得た方法により行うこと。

4 許可の更新・変更の状況
平成14年12月2日 新規許可
令和3年12月2日 更新許可 第3回

5 規則第10条の4第7項の規定による許可証の提出の有無 無

(裏面あり)

産廃エキスパート 都認定番号:5-20-C0005

このマークは東京都の優良認定事業者のマークです。

東京都

令和 3年12月21日 3環多廃更第381号
許可番号 第13-20-072577号

(裏面)

2 事業の用に供する施設
(1) 施設所在地: 東京都西多摩郡日の出町平井34番地1、34番地2、34番地10

施設種類	産業廃棄物の種類	単独処理能力	混合処理能力	設置年月日	許可番号	施設許可年月日
破碎	廃プラスチック類	64.5(t/日)		平成15年5月23日	産施第10013号	平成15年4月1日
	紙くず	114.7(t/日)	226.1(t/日)			
	木くず	187.9(t/日)				
	繊維くず	64.5(t/日)				
	ゴムくず	37.3(t/日)				
	金属くず	121.9(t/日)				
破碎	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	537.6(t/日)		平成15年5月23日	産施第10013号	平成15年4月1日
	がれき類	609.6(t/日)				
	廃プラスチック類	19.6(t/日)				
	紙くず	32.6(t/日)				
	木くず	62.8(t/日)				
	繊維くず	23.5(t/日)	63.9(t/日)			
破碎	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず (発泡スチロールに限る。)	3.3(t/日)		平成15年5月23日	産施第10013号	平成15年4月1日
	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず (発泡スチロールに限る。)	24.0(t/日)				
	廃プラスチック類	211.0(t/日)				
圧縮・梱包	紙くず	217.0(t/日)		平成23年7月20日		
	木くず	283.0(t/日)				
	繊維くず	354.0(t/日)	224.0(t/日)			
	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず (ガラスワール及びロックワールに限る。)	154.0(t/日)				
溶融	廃プラスチック類 (発泡スチロール・スチレンフォームに限る。)	0.49(t/日)		平成25年10月2日		
	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず (発泡スチロールに限る。)	154.0(t/日)				

(2) 施設所在地: 東京都西多摩郡日の出町平井2番地10

施設種類	産業廃棄物の種類	単独処理能力	混合処理能力	設置年月日	許可番号	施設許可年月日
圧縮・梱包	廃プラスチック類	211.0(t/日)		令和元年9月5日		
	紙くず	217.0(t/日)				
	木くず	283.0(t/日)				
	繊維くず	354.0(t/日)	224.0(t/日)			
溶融	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず (発泡スチロールに限る。)	154.0(t/日)				
	廃プラスチック類 (発泡スチロール・スチレンフォームに限る。)	0.49(t/日)				

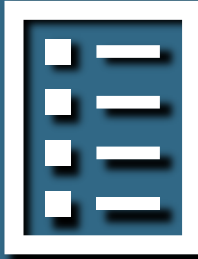
(3) 施設所在地: 東京都あきる野市養沢字大平1095番地、1096番地

施設種類	産業廃棄物の種類	単独処理能力	混合処理能力	設置年月日	許可番号	施設許可年月日
破碎	廃プラスチック類	3.5(t/日)		平成13年2月1日	産施第52008号	平成13年2月1日
	紙くず	7.0(t/日)				
	木くず	14.0(t/日)				
	繊維くず	4.5(t/日)	11.0(t/日)			
	金属くず	7.0(t/日)				
	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	10.5(t/日)				
がれき類	18.7(t/日)					

(以下余白)

この許可証には複製の不正防止処置を施してあります。

リサイクル推進(A)
Compliance with the
Circular Economy Strategy



計画の策定

中間処理はもとより、各地の収集運搬業においても優良産廃処理業者の認定を受けております。新規取得より5年経過しないと優良認定申請できない為、静岡県のみ未認定です。次回許可更新時に申請予定です。

また、東京都が独自に認定している第三者優良評価制度においても、第一区分である「産廃エキスパート」の認定を受けています。

2023.3.31現在

産業廃棄物収集運搬業																		
行政	許可番号	許可年月日	許可期限	許可品目 (○保管積替含む●保管積替なし)														
				A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
茨城県	00801072577	H28.12.9	R5.11.28						●	●	●	●			●	●	●	
栃木県	00900072577	H30.11.17	R7.11.16						●	●	●	●			●	●	●	
群馬県	01000072577	H30.10.18	R7.10.17						●	●	●	●			●	●	●	
埼玉県	01102072577	R2.8.13	R9.7.5		●	●	●	●	●	●	●	●			●	●	●	
千葉県	01200072577	R2.9.1	R9.8.31		●	●	●	●	●	●	●	●			●	●	●	
東京都	01310072577	H29.11.10	R6.11.9	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
神奈川県	01406072577	R2.8.28	R9.8.27	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	●	●	
山梨県	01900072577	R3.5.16	R10.5.15		●	●	●	●	●	●	●	●			●	●	●	
静岡県	02201072577	R1.9.9	R6.9.8							●	●	●			●	●	●	
愛知県	02300072577	R1.7.11	R8.6.4							●	●	●	●		●	●	●	

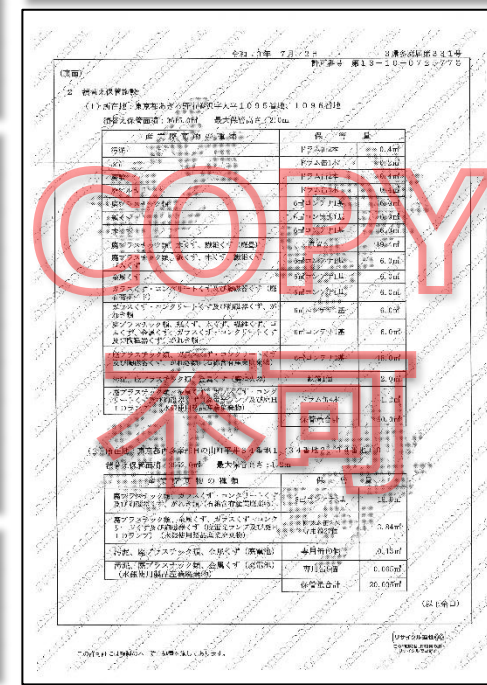
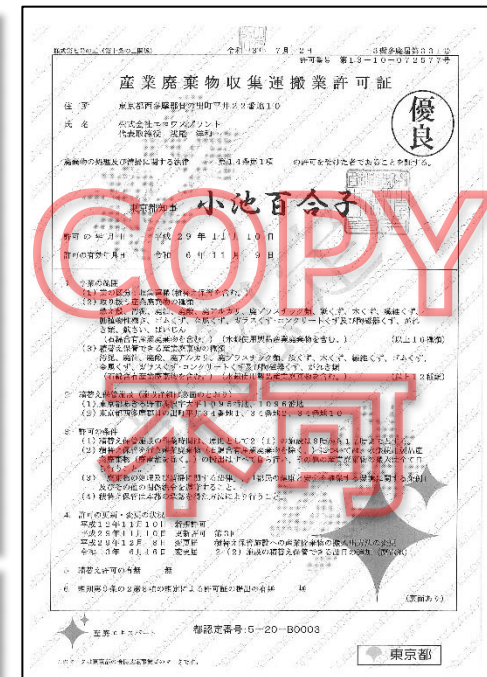
A.燃え殻 B.汚泥 C.廃油 D.廃酸 E.廃アルカリ F.廃ブラ G.紙くず H.木くず I.繊維くず J.動植物性残さ K.ゴムくず L.金属くず M.ガラ陶 N.がれき類 O.鋸ざり P.ばいじん

特別管理産業廃棄物収集運搬業													
行政	許可番号	許可年月日	許可期限	許可品目 (○保管積替含む●保管積替なし)									
				Q	R	S	T1	T2	T3	T4	T5	T6	
東京都	01350072577	H30.12.18	R7.12.17	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
横浜市	05650072577	H31.4.1	R8.3.31	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

Q.廃油 R.廃酸 S.廃アルカリ T.特定有害産業廃棄物 (1.廃石綿 2.廃油 3.廃酸 4.廃アルカリ 5.ばいじん 6.燃えがら)

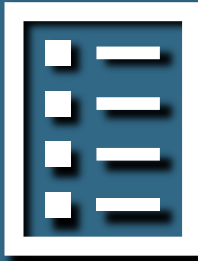
一般廃棄物収集運搬業							
行政	許可番号	許可年月日	許可期限	許可品目			
				木くず	紙くず	廃ブラ	コンガラ
日の出町	4日生第7655号	R4.10.1	R6.9.30	●	●	●	●
福生市	福生ご発第15号	R4.6.1	R6.5.31	●	●	●	●
あきる野市	あ環生収第48号	R4.6.11	R6.6.10	●	●	●	●
昭島市	昭環清第20号	R4.6.4	R6.6.3	●	●		
瑞穂町	瑞生許可第16-1号	R4.6.9	R6.6.8	●	●		
青梅市	許可収・運第84号	R4.1.27	R6.1.26	●	●		
羽村市	許可一廃収第56号	R4.2.1	R6.1.31	●	●		

一般廃棄物処分類							
行政	許可番号	許可年月日	許可期限	許可品目			
				木くず	紙くず	廃ブラ	コンガラ
日の出町	4日生第1920号	R4.6.1	R6.5.31	●		●	●





環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画、環境目標数値



計画の策定

弊社の事業の特性上、主な環境負荷の項目として4点を環境経営目標として挙げ、弊社の現在の状況を考慮して、環境経営計画を設定しました。

全従業員を対象に年度初めの各種会議において取組内容を説明し、目標達成に向け二酸化炭素の排出削減、上下水道の使用量削減、リサイクル率の向上、自社廃棄物の発生抑制に努めます。

EA21 環境経営方針

基本理念

株式会社エコワスプラントは、産業廃棄物収集運搬・中間処理業を通し、資源循環型社会構築へ貢献し、環境を創造する企業をめざします。

方針

1. 環境経営システムを活用し、環境経営を積極的に推進し、環境負荷の継続的改善に努めます。
2. 環境経営システムに不備が生じた際には、都度見直し・改善を行います。
3. 当社業務に適用される環境関連法規等を遵守します。
4. 当社の産業廃棄物処理業という事業特性を踏まえ、以下の環境活動に重点的に取り組みます。
 - ① エネルギーの使用量を削減し、地球温暖化防止のために二酸化炭素の排出削減に努めます。
 - ② 自社廃棄物の搬出量の削減、リサイクルの推進に努めます。
 - ③ 節水を徹底し、排水量の削減に努めます。
 - ④ 地域へ影響を与える悪臭・振動・騒音の発生防止に努め、環境美化を積極的に推進します。
 - ⑤ 受託廃棄物のリサイクル率向上に努めます。
 - ⑥ グリーン購入を推進します。
5. この環境経営システムの機能を有効にする為に社内体制を確立し、全従業員への環境教育・啓発に努めます。
6. この環境方針を実現する為に、環境目標を設定し、定期的に見直し・環境改善に努めます。

2021年4月1日改定
代表取締役 浅尾 洋和

環境経営目標

二酸化炭素の排出削減（燃料・電力）
 上下水道の使用量削減
 受託廃棄物のリサイクル率向上
 自社廃棄物の排出量削減

環境経営計画

軽油・ガソリン・LPガス

- ・社用車、収集運搬車両のエコ運転の実施
- ・アイドリングストップ
- ・制限速度厳守
- ・タイヤ空気圧の適正化
- ・急発進及び急停止の禁止

電力

- ・昼夜作業を問わず、未使用の部屋・ヤードの消灯の徹底
- ・未稼働の設置機械の主電源offの徹底（モニター管理）
- ・電力管理システムによるデマンド管理
- ・室内温度夏季28度、冬季20度の徹底

水

- ・漏洩チェックによる上水使用量の削減
- ・過剰な散水等の禁止
- ・スウィーパー使用により散水削減

リサイクル率向上

- ・選別の徹底により埋立・焼却処分量を削減
- ・マテリアルリサイクル率の向上
- ・サーマルリサイクル率の削減

自社廃棄物

- ・PC入力保存によりペーパーレス化をはかり、紙くず排出量の削減

グリーン購入

- ・事務用品のグリーン購入への取組み

環境目標数値

本社 日の出リサイクルプラント第二

二酸化炭素	: 1.05 kg-CO ₂ /t
↳ 電力使用料	: 0.93 kWh/t
↳ ガソリン使用料（営業車）	: 0.15 ℓ/t
↳ 軽油使用料（重機）	: 0.11 ℓ/t
↳ LPガス使用量（重機）	: 0.01 kg/t
水道使用量	: 102.00 m ³
自社廃棄物（厨芥）	: 67.00 kg
自社廃棄物（紙くず）	: 186.35 kg

日の出リサイクルプラント 日の出デポステーション

二酸化炭素	: 22.80 kg-CO ₂ /t
↳ 電力使用料	: 9.40 kWh/t
↳ 軽油使用料（運搬車）	: 5.50 ℓ/t
↳ 軽油使用料（重機）	: 1.64 ℓ/t
↳ LPガス使用量（重機）	: 0.08 kg/t
水道使用量	: 2,144.00 m ³
自社廃棄物（厨芥）	: 87.36 kg
自社廃棄物（紙くず）	: 249.66 kg
リサイクル率	: 92.00 %

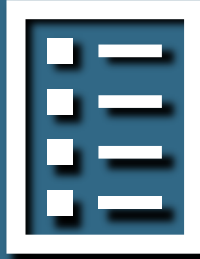
あきる野リサイクルプラント あきる野デポステーション

二酸化炭素	: 0.55 kg-CO ₂ /t
↳ 電力使用料	: 1.00 kWh/t
↳ 軽油使用料（重機）	: 0.03 ℓ/t

※電力実排出係数：0.421kg-CO₂/kWh（大和ハウス工業㈱2020年度）
 ※電力実排出係数：0.443kg-CO₂/kWh（東京電力エナジーパートナー㈱2020年度）
 ※発生原単位（t）は廃棄物の搬入量と搬出量の合計値です。



環境目標 (2022年度～2026年度)



計画の策定

弊社では、2021年度の実績値を基に5年間の中長期目標を設定しています。

本社 日の出リサイクルプラント第二

環境目標	基準年度 (2021年)	中長期目標				
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1. 二酸化炭素排出量削減 (①②③④⑤のCO2の削減)	1.05 kg-CO2/t	現状維持				
		1.05kg-CO2/t				
①電力消費量削減	0.93 kWh/t	現状維持				
		0.93kWh/t				
③車両燃料消費量削減 (ガソリン)	0.15 L/t	現状維持				
		0.15L/t				
④重機燃料消費量削減 (軽油)	0.11 L/t	現状維持				
		0.11L/t				
⑤重機燃料消費量削減 (LPガス)	0.01 L/t	現状維持				
		0.01L/t				
2. 自社廃棄物排出量削減 ①厨芥ごみ	67.0 Kg	現状維持				
		67.00kg				
②紙くず排出量の削減	190.15 Kg	-2%	-4%	-6%	-8%	-10%
		186.35 kg	182.54 kg	178.74 kg	174.94 kg	171.14 kg
3. グリーン購入の推進 (グリーン購入対象品目)	100 %	現状維持				
		100%				
5. 水道使用量削減	102 m3	現状維持				
		102m3				
6. 振動・騒音の発生の防止	法定基準の遵守	年一回の定期測定				
7. 地域環境美化の実施		工場周辺の清掃 (毎週)				

日の出リサイクルプラント 日の出デポステーション

環境目標	基準年度 (2021年)	中長期目標				
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1. 二酸化炭素排出量削減 (①②③④⑤のCO2の削減)	22.83 kg-CO2/t	-0.13%				
		22.80kg-CO2/t				
①電力消費量削減	9.49 kWh/t	-0.95%				
		9.40kWh/t				
②車両燃料消費量削減 (軽油)	5.55 L/t	-0.90%				
		5.50L/t				
④重機燃料消費量削減 (軽油)	1.67 L/t	-1.80%				
		1.64L/t				
⑤重機燃料消費量削減 (LPガス)	0.08 L/t	現状維持				
		0.08L/t				
2. 自社廃棄物排出量削減 ①厨芥ごみ	87.36 kg	現状維持				
		87.36kg				
②紙くず排出量の削減	254.76 kg	-2%	-4%	-6%	-8%	-10%
		249.66 kg	244.57 kg	239.47 kg	234.38 kg	229.28 kg
3. グリーン購入の推進 (グリーン購入対象品目)	100 %	現状維持				
		100%				
4. 受諾廃棄物のリサイクル率の向上	89.22%	+2.78%				
		92.0%				
①マテリアルリサイクル率	60.52%	+0.48%				
		61.0%				
②ケミカルリサイクル率	2.04%	+0.96%				
		3.00%				
③高度熱回収 (RPF) 率	8.20%	+0.8%				
		9.00%				
④サーマルリカバー率	18.46%	+0.54%				
		19.0%				
5. 水道使用量削減	2,144 m3	現状維持				
		2,144m3				
6. 振動・騒音の発生の防止	法定基準の遵守	年一回の定期測定				
7. 地域環境美化の実施		工場周辺の清掃 (毎週)				

あきる野リサイクルプラント あきる野デポステーション

環境目標	基準年度 (2021年)	中期目標				
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
1. 二酸化炭素排出量削減 (①・②のCO2の削減)	0.55 kg-CO2/t	現状維持				
		0.55kg-CO2/t				
①電力消費量削減	1.03 kWh/t	-2.91%				
		1.00kWh/t				
②重機燃料消費量削減	0.04 L/t	-25.0%				
		0.03L/t				
6. 振動・騒音の発生の防止	法定基準の遵守	年一回の定期測定				
7. 地域環境美化の実施		年1回搬入出道路の清掃				

※電力実排出係数：0.421kg-CO2/kWh (大和ハウス工業(株)2020年度)
 ※電力実排出係数：0.443kg-CO2/kWh (東京電力エナジーパートナー(株)2020年度)
 ※発生原単位 (t) は廃棄物の搬入量と搬出量の合計値です。



具体的な取組

共通

雇用環境状況

- ・法定外残業時間月平均：27.7h → 32.5h
- ・有給休暇平均取得日数：11.2日 → 11.7日
- ・有給休暇平均取得率：73.7% → 70.8%

ボランティア活動（近隣清掃）

- ・毎月第一月曜日に工業団地内清掃活動を実施

環境整備

- ・敷地周りの雑草除去

教育訓練

- ・新規入場者に安全衛生とともに環境教育も実施

収集運搬業務

点検整備

- ・点呼・日常点検を確実に実施
- ・車両定期点検を年2回実施
- ・車検や半年点検は管理表を基に実施
- ・事故削減、燃費向上の為、車両修繕を管理

燃費管理

- ・GPSでの動態管理を行い、効率的な配車運用
- ・走行距離・給油量を基に、CO2発生量を周知

危険運転・非エコ運転の監視

- ・全車両にテレマティクス・ドライブレコーダーを導入
- ・危険運転、非エコ運転が発生した者へ改善指導

二酸化炭素の 排出削減 (燃料・電力)

上下水道の 使用量削減

受託廃棄物の リサイクル率向上

自社廃棄物の 排出量削減

プラント業務

選別強化

- ・工場内の壁に廃プラとガラ陶のサンプルを掲示
- ・廃棄物の写真付きリサイクルフロー図を掲示

電力削減

- ・電力管理システムによるデマンド管理
- ・休憩時のヤードの消灯
- ・設備機械の時間差稼働で最大需要電力を抑制

工場内の4S運動（整理・整頓・清掃・清潔）

- ・飛散防止ネットの設置
- ・スqueegeeを用いて水道使用量を削減
- ・適切な散水

営業・事務

電力削減

- ・室内温度夏季28度、冬季20度の徹底
- ・未使用部屋の消灯
- ・未使用OA機器のスリープモード

紙くず排出量の削減

- ・電子契約システム『クラウドサイン』の推進
- ・PC上でのデータ管理の実行
- ・裏紙の使用を促進
- ・シフト表を個人のスマートフォンで確認できるよう改善

備品

- ・備品はグリーン購入該当する商品の中から選定
- ・使い捨てではなく、詰め替えられる備品を使用



計画の 実行

毎年年度末に翌年度の各部門別の環境行動目標を立ててもらいます。その環境行動目標を基に右記事項をそれぞれ実施いたしました。

環境経営目標の4点に各実施項目を紐付けております。

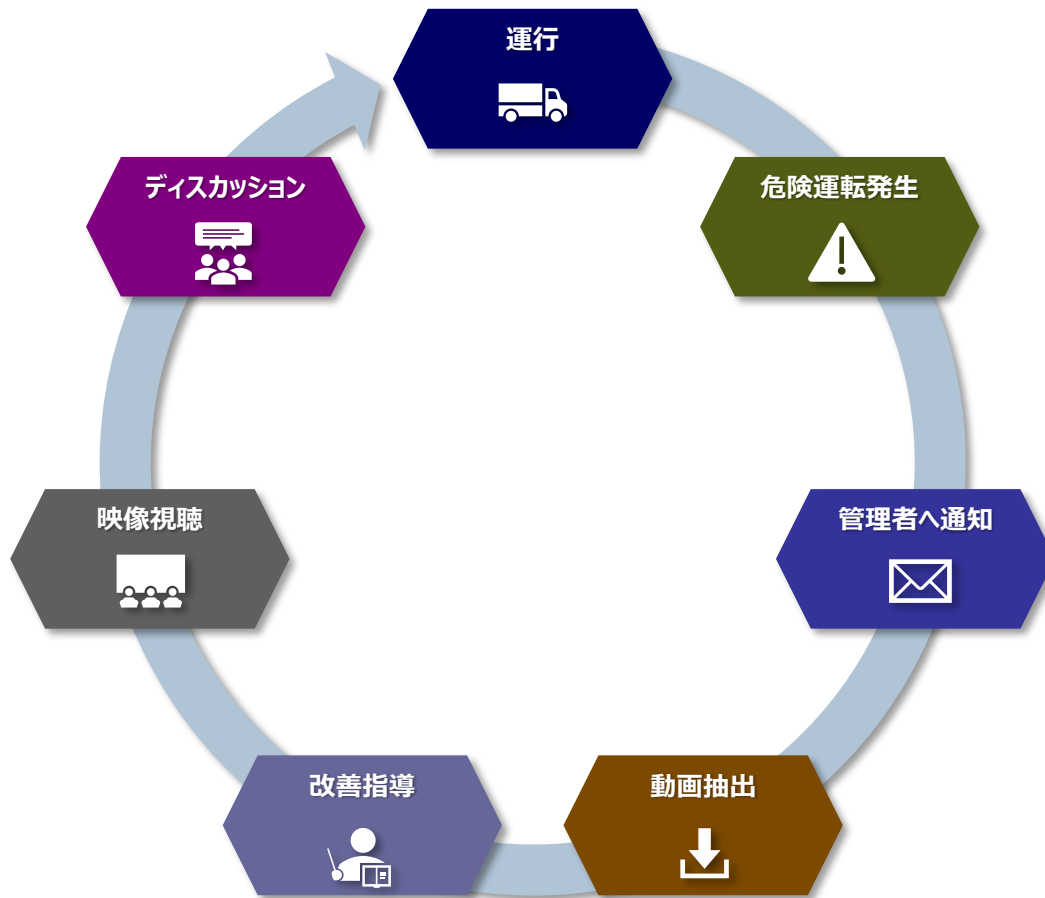


安全運転への取組



無事故に向けた循環型フローチャート

危険運転が発生すると管理者へ通知が入り、動画を抽出します。その後、ドライバーへの改善指導を行います。また、抽出した動画は次回の乗務員会議で視聴します。その後、グループごとにどのようにすれば今回の危険運転をなくせたのかグループディスカッションを行い、全ドライバーに啓発しています。「チャレンジ無事故180日」等の参加型イベントを開催する事で連帯感が生まれ、各自のやる気を引き出しています。



燃費向上・時間外削減の為の循環型フローチャート

無駄な運行を削減した場合に支給される能率手当を導入した事で、運行時間や距離、燃費を意識するドライバーが増加し燃費の削減に繋がりました。また、毎月車両別のCO2発生量を周知することで、燃費向上＝環境保全という意識が共有されています。燃費の思わしくない運転手はECOドライブ講習に参加し、燃費の底上げを図っています。



計画の 実行

弊社では無事故と燃費向上・時間外削減の為の2種類循環型フローチャートを設けています。

その結果、燃費は0.06km/ℓ向上し、車両保険のメリット率も15%向上いたしました。(2021年度対比)



SDGsへの取組（環境への取組）



計画の 実行

私たち株式会社エコワスプラントはSDGsの趣旨に賛同しています。産業廃棄物処理業を通じて自分たちが出来ることから少しずつ活動を行うことで、持続可能な世界の実現を目指します。

社員と環境意識の共有を図り、日々活動しています。

エコドライブ・事故ゼロを目指します。

地球温暖化、資源枯渇、廃棄物などの問題を改善、解決するためエコアクション21に取り組むとともに、二酸化炭素（CO₂）、窒素酸化物（NO_x）、粒子状物質（PM）の排出量を減少させる環境性能に優れた低公害車の導入を進めています。また、全車両にテレマティクスとドライブレコーダーを搭載し、運行にかかる負荷・速度・時間・危険運転等を記録しデータ化することで「地球環境の保全」及び乗務員の安全も考慮した適切なエコドライブ指導を行い、安全と環境に配慮したセーフティードライブの推進に努めています。

交通エコロジー・モビリティ財団
エコドライブ活動コンクール受賞歴
2018年度…優良賞
2019年度…優良賞
2020年度…優良継続賞
2021年度…優秀賞
2022年度…優秀継続賞

◆エコドライブ推進



BCP（事業継続計画）を策定しています。

大規模な災害が発生し事業継続が危ぶまれる事態に至った場合においても、従業員及びその家族の安全を確保しながら被害を未然に防止し、また早期に事業を復旧させる体制を整えています。早期復旧により災害廃棄物の処理等を通じて地域の復旧に貢献できればと考えています。

◆災害に備え、有事の際にも社会貢献を

事業活動での環境負荷低減に努めています。

事業活動に伴う節電、節水、マイバック使用など、CO₂削減や廃棄物の発生抑制に努めるとともに社員のeco検定取得に手当を支給し、環境活動を通じた環境教育を実施しています。

- ◆エコアクション21
- ◆Fun to Share
- ◆チームもったいない

ゼロエミッション・CO₂削減を目指しています。

地球温暖化、資源枯渇、廃棄物などの問題を改善、解決するためには廃棄物のリサイクルが必須です。当社に搬入される廃棄物は可能な限り資源として再生されています。再生品がより流通するように事務用品等は全てグリーン購入を実施しています。また、遠距離への運搬に際してはフェリーや鉄道輸送によるモーダルシフトへ切り替えています。

- ◆モーダルシフトへの切り替え
- ◆グリーン購入の徹底



ダイバシティへ取り組んでいます。

東京都障害者雇用優良企業に認定されるなど、障がい者雇用、高齢者雇用に積極的に取り組み、現在では2名の知的障がい者の方と安全と健康が確認された8名の65歳以上の高齢者の方も勤務しています。また、採用や昇進、教育に当たっては学歴・性別・国籍等に左右されることなく平等に機会を付与しています。

- ◆障がい者・高齢者雇用の推進
障がい者実雇用率：3.66%
高齢者雇用率：8.54%
(2023.3.31現在)

ボランティア活動に取り組んでいます。

毎月実施している近隣清掃や業界団体と連携して行っているビーチクリーン活動、当社独自の植林活動を通して自然を守り、より良い環境のもと誰もが健康的で豊かな生活を送れるよう努力しています。また、自然観察指導員の養成も行い、自然の大切さを広く広める活動も行っています。

- ◆近隣清掃
- ◆植林活動
- ◆ビーチクリーン活動
- ◆自然観察指導員

働きやすい環境づくり、プライベート充実のため健康経営に取り組んでいます。

従業員の安全確保と企業理念実現のためには、従業員一人ひとりの心身の健康が不可欠であるとの思いと、従業員が健康でいることが生産性向上や会社の持続的な成長につながるの考えから「健康づくりマスタープラン」を策定し、「健康宣言」を行うことで休暇取得の推奨や労働時間削減、母性保護、ハラスメント相談窓口設置、グッドジョブカード配布、インフルエンザ予防接種の実施など様々な取り組みを行ってまいりました。2019年には健康経営優良法人に認定されています。より働きやすい職場づくりを実施しサービス品質の向上にも繋げていくために、多様な人材が柔軟な働き方を選択できるように時短勤務や限定職等を選択できる制度も策定しています。

◆健康経営優良法人2023



SDGs推進のために連携を大切にします。

SDGs推進企業とのパートナーシップを図るとともに当社の取組みを積極的に広報し、持続可能な開発目標を達成するために業界団体や地域住民等との連携を通じて活動を行ってまいります。

情報の共有化

経営会議

取締役及び各部門長が参加し、経営状況を確認し、今後の方針等を決定しています。

スタッフ遵法会議

事務管理スタッフにお取引先情報、配車状況等を共有してもらうために行います。
また、最新の法改正や業界情報を伝達及び自社の各種法律の遵法状況を確認します。

営業会議

売上状況・ペンディング案件の報告、契約状況等を確認します。
また、未入金の有無等も確認しています。

安全衛生委員会

安全はもとより、労働時間の削減や雇用環境改善について意見を交わします。
また、環境活動について情報を共有しています。

ドライバー会議

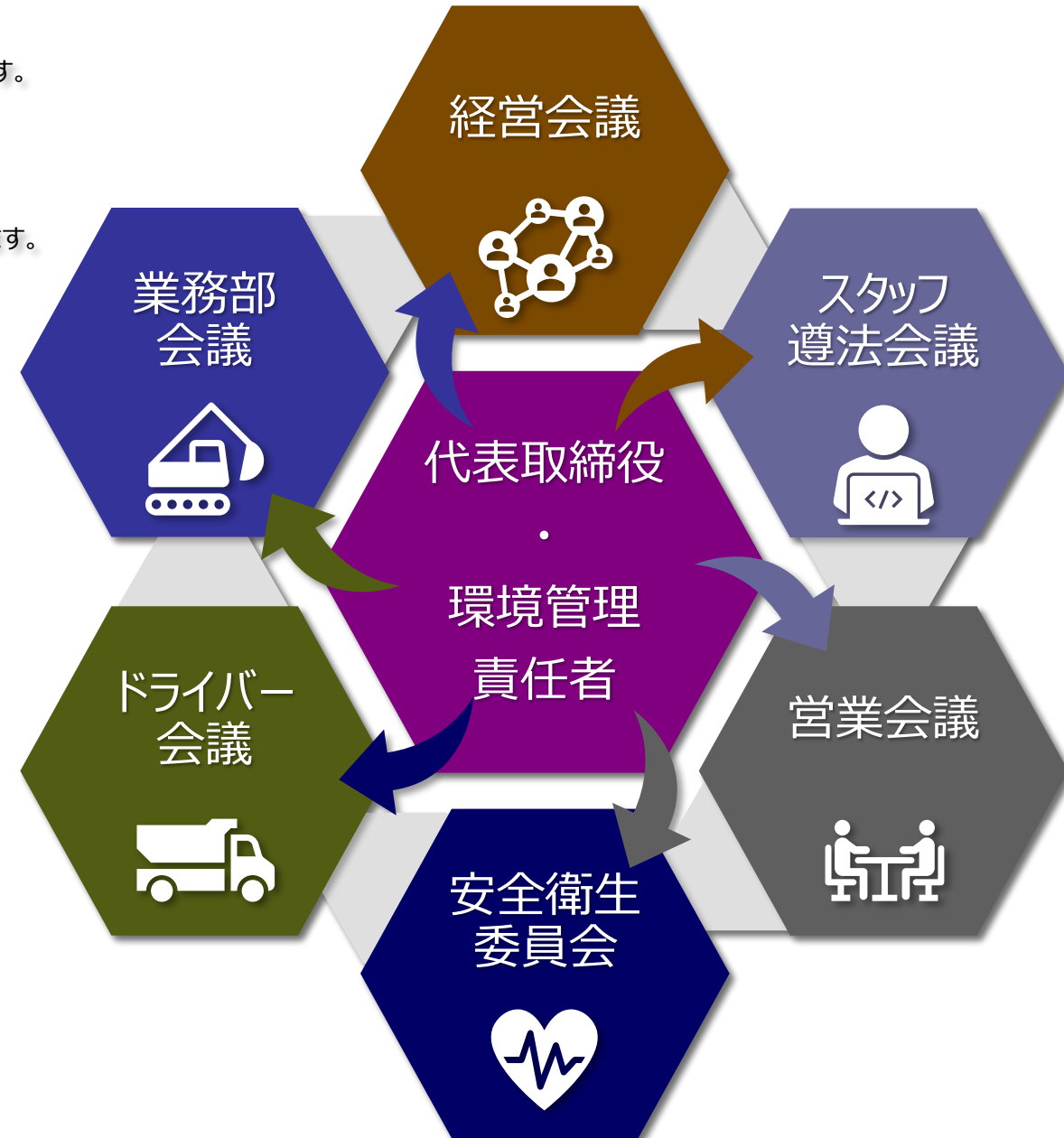
ドライバー教育や、安全運転、エコドライブ、関係各種法律の教育等を行っています。
また、業務改善等についても意見を交わしています。

業務部会議

品質改善・作業手順の見直し・労働安全衛生を始めとする関係各種法律の教育・確認をしています。

全体会議

半期ごとの総括や、安全、環境活動の報告および改善報告等を行います。
また、社員表彰も行っています。



計画の 実行

あらゆるシーンで安全、コンプライアンスの徹底を図るため、営業、事務員、工場作業員、ドライバーなど職種別の社員教育はもとより、毎日の朝礼や点呼、毎月開催される安全衛生委員会やスタッフ遵法会議等を通じて、最新の情報を共有し、確認を行っています。

営業・ドライバーは社外で活動することが多いため、特に徹底して各種法律知識を教育します。



環境経営目標・環境経営計画の実績・取組結果、低排出ガス車・低燃費車導入状況



取組状況 の確認及び 評価

本社・日の出リサイクルプラント第二は1年を通じての実績値がないため、予測値から環境目標値を設定しております。他の事業所は2021年度の実績値を元に設定しております。

今年度は車両を2台の増車し、1台の廃車を行いました。排ガスレベル平成22年規制適合車以上が60.0%、平成27年度燃費基準達成車が65.8%となりました。

事業所	項目	目標値	実績値	結果	
本社・日の出リサイクルプラント第二	二酸化炭素	1.05 kg-CO2/ t	0.95 kg-CO2/ t	○	
	電力使用量	0.93 kWh/ t	0.86 kWh/ t	○	
	ガソリン使用量（営業車）	0.15 l/ t	0.16 l/ t	×	
	軽油使用量（重機）	0.11 l/ t	0.08 l/ t	○	
	LPガス使用量（重機）	0.01 kg/ t	0.01 kg/ t	○	
	水道使用量	102.00 m3	124.00 m3	×	
	自社廃棄物（厨芥）	67.00 kg	78.83 kg	×	
	自社廃棄物（紙くず）	186.35 kg	199.70 kg	×	
	日の出リサイクルプラント・日の出デポステーション	二酸化炭素	22.80 kg-CO2/ t	21.53 kg-CO2/ t	○
		電力使用量	9.40 kWh/ t	8.91 kWh/ t	○
軽油使用量（運搬車）		5.50 l/ t	5.39 l/ t	○	
軽油使用量（重機）		1.64 l/ t	1.53 l/ t	○	
LPガス使用量（重機）		0.08 kg/ t	0.08 kg/ t	×	
水道使用量		2,144.0 m3	2,222.0 m3	×	
自社廃棄物（厨芥）		87.36 kg	337.40 kg	×	
自社廃棄物（紙くず）		249.66 kg	265.45 kg	×	
リサイクル率		92.00 %	89.70 %	×	
あきる野リサイクルプラント・あきる野デポステーション		二酸化炭素	0.55 kg-CO2/ t	0.44 kg-CO2/ t	○
	電力使用量	1.00 kWh/ t	0.99 kWh/ t	○	
	軽油使用量（重機）	0.03 l/ t	0.00 l/ t	○	

※電力実排出係数：0.421kg-CO2/kWh（大和ハウス工業㈱2020年度）
 ※電力実排出係数：0.443kg-CO2/kWh（東京電力エナジーパートナー㈱2020年度）
 ※発生原単位(t)は廃棄物の搬入量と搬出量の合計値です。

低排出ガス車の導入状況

①平成11年規制適合車	0台	0.0%
②平成12年基準低排出ガス車 良☆	0台	0.0%
③平成12年基準低排出ガス車 優☆☆	0台	0.0%
④平成12年基準低排出ガス車 超☆☆☆	0台	0.0%
⑤平成12年基準排出ガスPM75%低減ディーゼル車 ☆☆☆	0台	0.0%
⑥平成12年基準排出ガスPM85%低減ディーゼル車 ☆☆☆☆	1台	2.9%
⑦平成17年規制適合車	4台	11.4%
⑧平成17年基準低排出ガス車 ☆☆☆	0台	0.0%
⑨平成17年基準低排出ガス車 ☆☆☆☆	0台	0.0%
⑩平成17年基準NOx・PM10%低減重量車 ☆	0台	0.0%
⑪平成17年基準NOx・PM10%低減重量車 ★	8台	22.9%
⑫平成19年規制適合車	1台	2.9%
⑬平成21年排出ガス基準10%低減☆	0台	0.0%
⑭平成22年規制適合車	3台	8.6%
⑮平成22年規制適合車/排出ガス10%低減車☆	11台	31.4%
⑯平成28年（ポストポスト新長期）排出ガス規制	6台	17.1%
⑰平成30年規制適合車	1台	2.9%
合計	35台	100.0%

低燃費車の導入状況

平成17年度燃費基準達成車	①-	0台	0.0%	
	②10%低減レベル	0台	0.0%	
	平成22年度燃費基準達成車	③-	0台	0.0%
		④5%低減レベル	0台	0.0%
		⑤10%低減レベル	0台	0.0%
平成27年度燃費基準達成車	⑥15%低減レベル	0台	0.0%	
	⑦25%低減レベル	0台	0.0%	
	⑧-	12台	34.3%	
	⑨5%向上	2台	5.7%	
	⑩10%向上	7台	20.0%	
	⑪15%向上	1台	2.9%	
	⑫25%向上	1台	2.9%	
合計	35台	100.0%		



廃棄物の処理実績



産業廃棄物収集運搬量

汚泥	0.189 t
廃油	0.216 t
廃プラスチック類	4,780.127 t
紙くず	936.642 t
木くず	4,493.163 t
繊維くず	30.372 t
金属くず	849.092 t
ガラス陶磁器くず	4,465.272 t
石膏ボード	3,574.508 t
がれき類	6,256.483 t
石綿含有産業廃棄物	502.135 t
水銀使用製品産業廃棄物	5.542 t
合計	25,893.741 t



特別管理産業廃棄物収集運搬量

特管廃油	0.126 t
合計	0.126 t



産業廃棄物処分量



日の出りサイクルプラント

廃プラスチック類	3,379.534 t
紙くず	927.115 t
木くず	4,614.131 t
繊維くず	32.152 t
金属くず	898.821 t
ガラス陶磁器くず	4,451.310 t
がれき類	6,332.655 t
廃石膏ボード	3,502.806 t
合計	24,138.524 t



一般廃棄物収集運搬量

合計	実績なし
----	------



日の出りサイクルプラント第二

廃プラスチック類	1,621.250 t
紙くず	15.540 t
木くず	31.080 t
繊維くず	0.020 t
ガラス陶磁器くず (ガラスケール・ロックケールに限る)	130.250 t
合計	1,798.140 t



あきる野リサイクルプラント

実績なし



一般廃棄物処分量



日の出りサイクルプラント

コンクリートガラ	0.10 t
合計	0.10 t

取組状況 の確認及び 評価

本年度の廃棄物の処理量は右表のとおりです。

また、弊社ホームページや産廃情報ネット（外部サイト）ではより詳細な情報を掲載しております。

(株)エコスプラント
ホームページ



産廃情報ネット





CO2発生原単位・水道使用量・自社廃棄物排出量・廃棄物取扱量推移

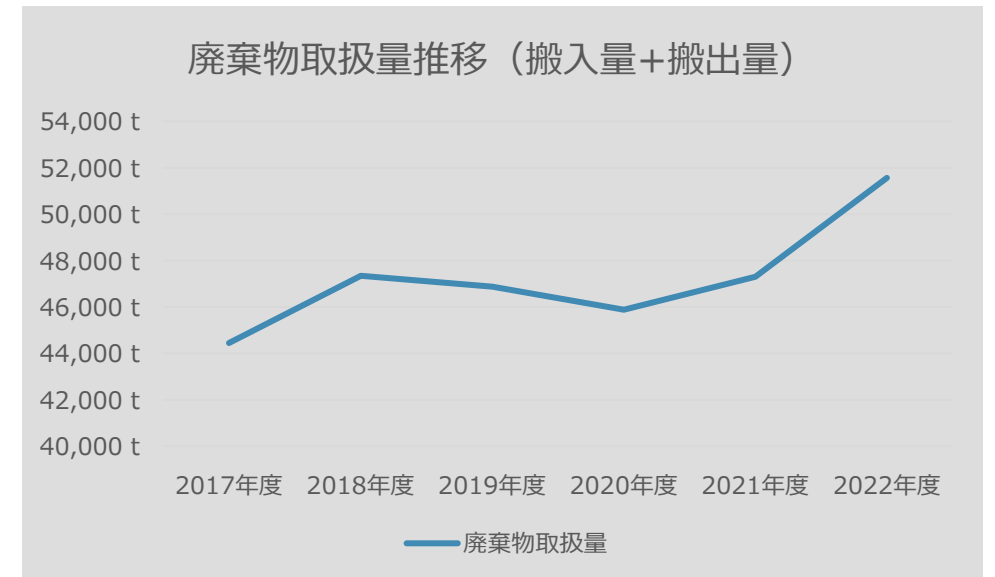
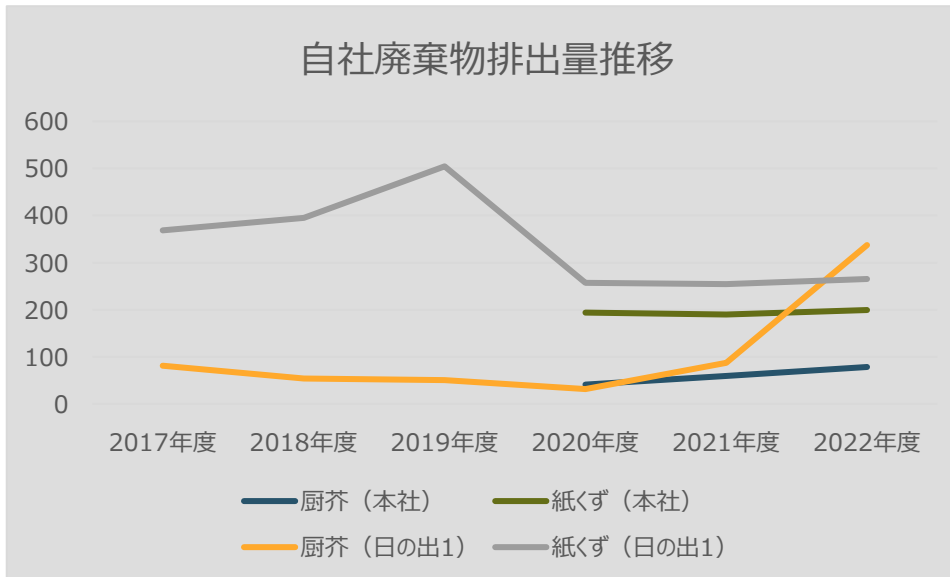
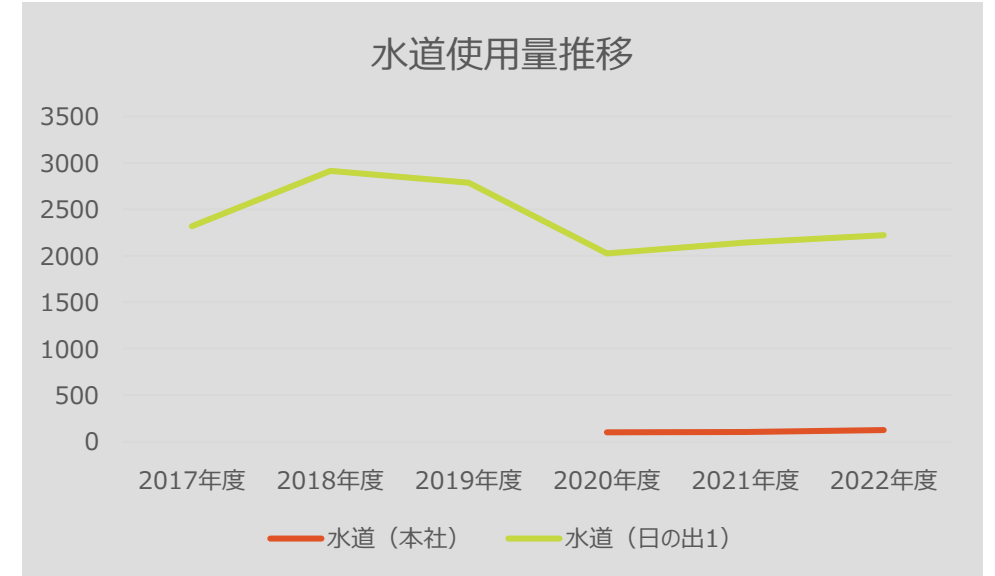
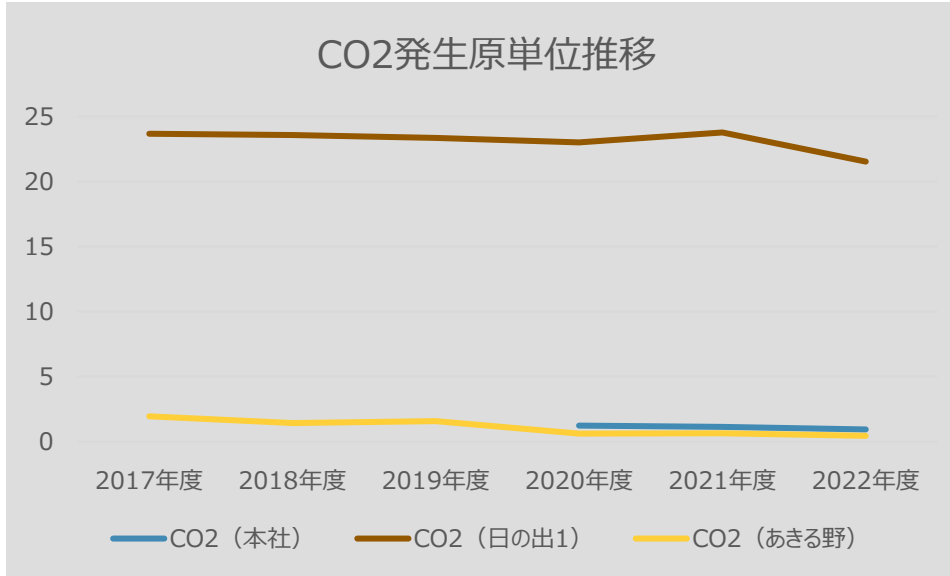


取組状況 の確認及び 評価

廃棄物の取扱量（搬入量・排出量）は基準年度の2017年度と比較して、16%増加いたしました。

対してCO2発生原単位・水道使用量・はほぼ横ばいという状況になっております。

本社は2019年度に移転し、2020年度から2022年度の3年分のデータのみにとなっております。





取組状況 の確認及び 評価

弊社の事業活動に伴って発生したCO₂（燃料・電力）を排出係数、発熱量をもとに算出しました。また、同じく事業活動に伴って代替燃料供給によるCO₂削減量を排出係数をもとに算出しました。

弊社の事業活動によるCO₂発生量に対し、約5.42倍の資源エネルギーの供給実績となりました。

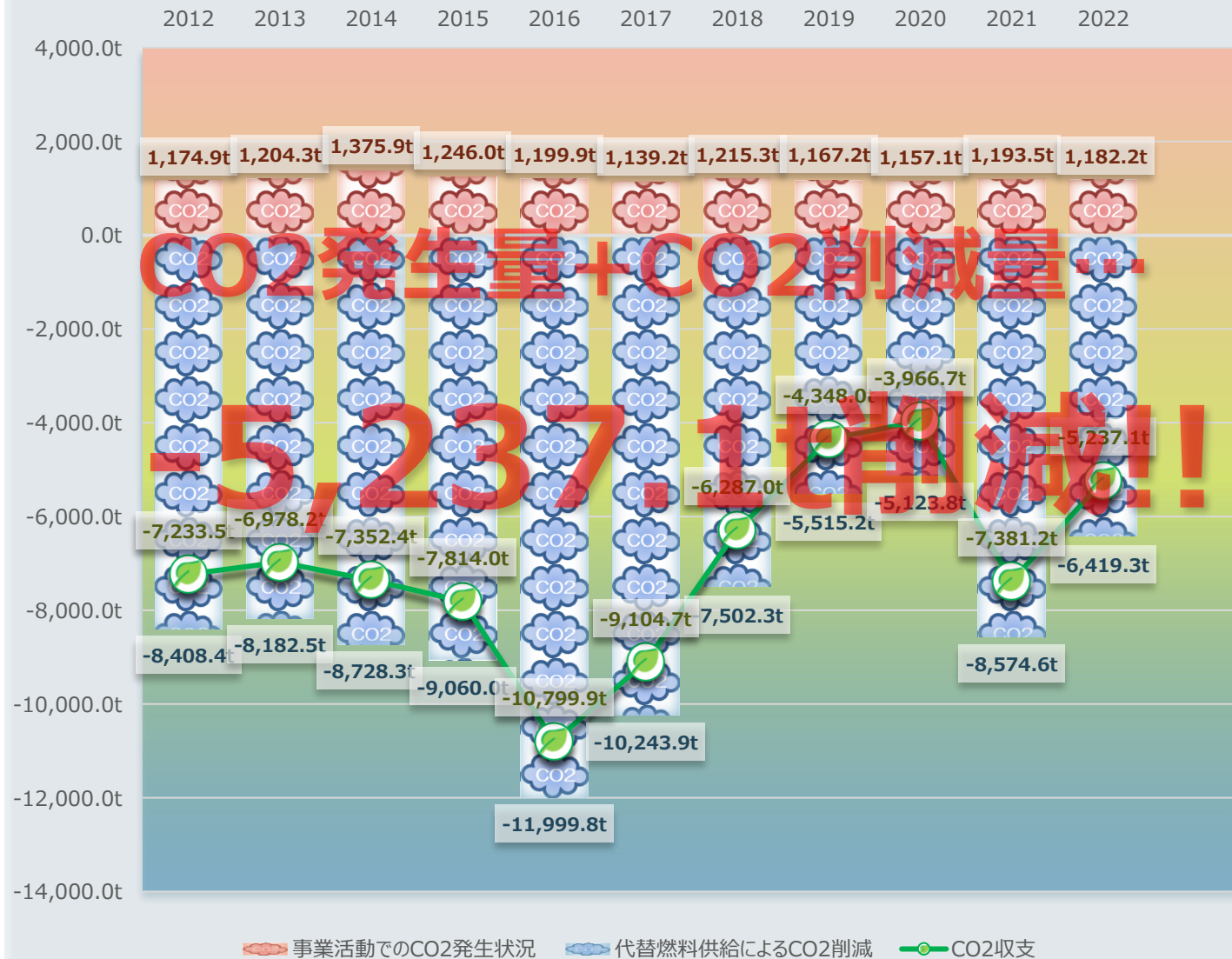
事業活動でのCO₂発生状況

資源消費	使用量	CO ₂ 発生量
ガソリン	8,008.01 ℓ	18.6 t
軽油	277,963.73 ℓ	717.8 t
軽油（GTL燃料）	83,650.7 ℓ	196.9 t
電力	554,796 kWh	234.7 t
液化石油ガス	4,758 kg	14.3 t
	合計	1,182.2 t

代替燃料供給によるCO₂削減

供給資源	資源供給量	CO ₂ 換算量
発電	539.38 t	172.6 t
代替燃料	5,479.55 t	6,246.7 t
	合計	6,419.3 t

CO₂収支推移





今年度の反省及び次年度の取組内容・代表者のコメント



環境管理責任者による見直し

二酸化炭素の排出量目標は廃棄物の搬入量と搬出量の合計で1 tあたりの処理量の原単位で設定しています。廃棄物の取扱量は昨年度よりは約9%増加しており、その結果、原単位で目標を定めている多くの項目で目標達成となりました。しかし、水道の使用量や自社廃棄物、リサイクル率では目標達成には至りませんでした。水道使用量の増加に関しては、粉じん対策や廃棄物排出時の湿潤化を求められている為、致し方ないと考えます。自社廃棄物（厨芥）の発生量は、作業員休憩室から排出される廃棄物量を追加した為に、生じた結果と考えます。来年度より従業員1人当たりの発生量を求め、自社廃棄物の発生抑制に努めます。リサイクル率に関しては、2次処理先を選定し直し、リサイクルできる業者に搬出するようシフトします。2023年度の環境目標数値は下記の通りです。



2023年度環境目標数値



本社・日の出リサイクルプラント第二

二酸化炭素	:	1.05kg-CO2/t
↳ 電力使用量	:	0.93kWh/t
↳ ガソリン使用料（営業車）	:	0.15 ℓ/t
↳ 軽油使用料（重機）	:	0.11 ℓ/t
↳ LPガス使用量（重機）	:	0.01 kg/t
水道使用量	:	102.00 m3
自社廃棄物（厨芥）	:	67.00 kg
自社廃棄物（紙くず）	:	182.54 kg

※電力調整後排出係数
0.421kg-CO2/kWh（大和ハウス工業㈱2020年度）



日の出リサイクルプラント・日の出デポステーション

二酸化炭素	:	22.80kg-CO2/t
↳ 電力使用量	:	9.40kWh/t
↳ 軽油使用料（運搬車）	:	5.50 ℓ/t
↳ 軽油使用料（重機）	:	1.64 ℓ/t
↳ LPガス使用量（重機）	:	0.08 kg/t
水道使用量	:	2,144.00 m3
自社廃棄物（厨芥）	:	87.36 kg
自社廃棄物（紙くず）	:	244.57 kg
リサイクル率	:	94.00%

※電力調整後排出係数
0.421kg-CO2/kWh（大和ハウス工業㈱2020年度）



あきる野リサイクルプラント あきる野デポステーション

二酸化炭素	:	0.55kg-CO2/t
↳ 電力使用量	:	1.00kWh/t
↳ 軽油使用料（重機）	:	0.03 ℓ/t

※電力調整後排出係数
0.443kg-CO2/kWh（東京電力エナジーパートナー㈱2020年度）

※発生原単位（t）は廃棄物の搬入量と搬出量の合計値です。



代表者コメント

昨年度は電力消費量と軽油使用量削減を達成することが出来ませんでした。今年度は達成することが出来ました。受注量も増えた中で、極力無駄な使用を控えた事や、エコドライブ活動の成果だと感じています。また、リサイクル率の低下においては、昨年同様、塩ど製品やグラスウール等のリサイクル不適物の徹底選別が進んだと同時に解体廃棄物の受入増加による結果と捉えています。また日の出リサイクルプラント第二においては、電力消費量の改善が出来ましたが、粉塵防止のため水の使用量が増加してしまいましたが、致し方ない結果であると思われます。なお、営業車のガソリンの使用量においては仕事量の増加が原因であると思いますが、燃費を意識しながら改善を進めていきたいと思っています。来年度は、立ち止まる事無く、より細かな削減努力をされることに期待します。



全体評価と見直し



社会貢献活動・その他環境活動



健康経営優良法人2023 認定

経済産業省では、次世代ヘルスケア産業協議会健康投資ワーキンググループにおいて、健康経営に取り組む優良な法人を「見える化」すべく、「健康経営優良法人認定制度」の設計を行っています。この制度は、地域の健康課題に即した取組や日本健康会議が進める健康増進の取組をもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。



エコドライブ優秀活動認定証 受賞

交通エコロジー・モビリティ財団が主催する2022年度エコドライブ活動コンクール一般部門において、エコドライブ優秀活動認定証を受賞いたしました。今後とも環境のためにエコドライブを推進してまいります。

※表彰規定では前回よりも上位の賞でなければ受賞できないとされています。

昨年度、弊社は優秀賞を受賞している為、今回のエコドライブ優秀活動認定証は優秀賞に相当する取組を継続していると評価されたものです。



障がい者・高齢者雇用

働き場の少ない障がい者、高齢者の方々を積極的に受け入れ、其々の適性に見合った業務を行って頂いています。

(2023年3月31日の障がい者実雇用率：2名、3.33%、高齢者実雇用率：8名、8.54%)



近隣清掃

毎月第一月曜日に近隣にポイ捨てされた廃棄物を回収しています。

2022年4月～2023年3月迄で36.77kgを回収いたしました。



環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規制の遵守状況のまとめの一覧表に基づき、チェックを行った結果、法律・条例について、違反はありません。

環境関連法規制に関する訴訟はありません。



環境コミュニケーション

株式会社エコスプラントでは、企業の方・地域の方などの工場見学を随時受け入れています。

2022年4月から2023年3月にかけて、行政・企業の環境担当の方22社の方々が工場見学されました。



eco検定合格者数・保有率（2023.3.31現在）

合格者数：15名（内2022年度合格者数：0名）

保有率：23.5%

今年度は新型コロナウイルスの流行に伴い、受験者数0名でした。



2023

健康経営優良法人

Health and productivity



その他